

新潟県

公民館月報



昭和51年6月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市一番瀬通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) ☎ 6111 内線 326】 【振替新潟
4094】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年 840円】

ともをおせ

ちからいっぱい
ともをおせ

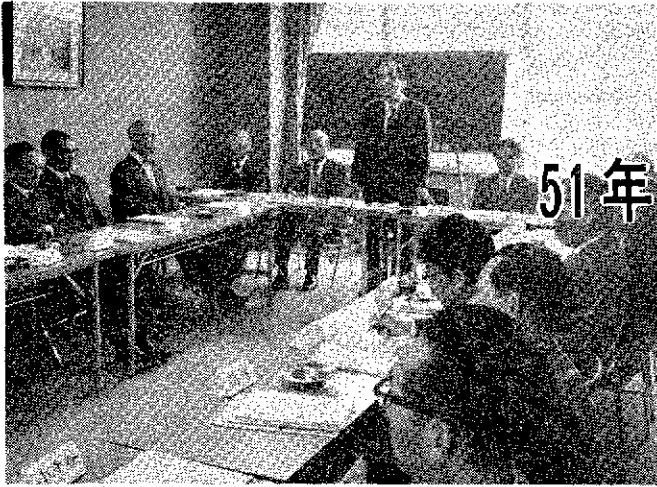
へさきがたつ

なみにのせながら
ともからのれば
ボートはおとなしい

しずかにオールをいれて
からだごとひけ
へさきはなみをきる

しぶきとかぜと
ちからくらべだ
おまえのオール

(本)



立ってあいさつする石井会長、その右上村社教主事

第一回評議員会

51年度事業計画を策定

全国大会準備など

基礎づくり事業に重点

さる五月二十一日、新潟市の土地改良会館で、昭和五十一年度第一回評議員会が開かれた。提出された新年度事業計画、収支予算案など四案件は別稿のとおり承認された。このうちとくに「第二十六回全国公民館大会」を昭和五十一年度中に開催するにあたり、八月頃第一回の準備打ち合わせ会を開き入り態勢を固めること。また十一月頃には公民館振興市町村長連盟支部の結成をめざすことなどが承認され、県内公民館振興の基礎づくりの年度とすることが確認された。

なおこの日、県社教課の公民館担当として返り咲いた上村捨二郎社教主事が紹介された。

事務局が移転

当日の出発者は石井会長以下二十七名(ほか)に兼任状況提出委員(議長に岡田清氏(新潟市)、副議長に岡田清氏(新潟市)を委

- (1) 本会会長石井耕一氏(豊栄市)
- (2) 全国公民館連合会総会

石井氏が全公連理事に

さる五月十一日東京国立教育会館で昭和三十三年度から二期にわたる館で開催された全公連の運営総会において、本会会長の石井耕一氏(豊栄市)が新任の理事に推選された。昭和五十一年度全公連では学識経験者一名を含む五名の理事の任期満了にともない新しい理事の選任がはかられ、この結果、三名の再任者のほかに、近畿の岡田盛博氏、学識経験者としての千原順一氏とともに新理事に就任した。

本県から全公連役員となったもの

☆ ☆ ☆ ☆

め、報告をふくめ議定された事項はおよそ次のとおり。

報告事項

- 一、事務局の移転について
- 二、海外社会教育施設視察
- 三、海外社会教育施設視察
- 四、昭和五十一年度任期満了にともなう役員の変更について

結果

- (1) 本会会長石井耕一氏(豊栄市)
- (2) 全国公民館連合会総会

長が全公連理事に推せんされ就任した。

(2) 本年度全国公民館大会は東京で開催される。皇太子ご夫妻を招くことになっている。賞状等

定した。この結果、新しい市町村

賦課額を従来からの賦課基準によ

って算出し適用することが承認さ

れた。

三、第二十七回県公民館大

会基本方針について

昭和五十一年九月二十四日(金)

柏崎市で開催する基本方針が承

された。

四、昭和五十一年度任期満

了にともなう役員の変更

について

石井耕一氏を会長に旨。上

中・下越公連推せん副会長・座

事・監事を昭和五十一年度新役員

三、昭和五十一年度負担金

賦課基準について

た。

公民館関係法令集

内容・教育委員会・社会教育法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館運営指針・通達「公民館基準の取り扱いについて」

A5版、34ページ
一部二五〇円送料別
公民館関係の諸会議に
ご使用ください。
申込先・県公連事務局

全公連20年史・稿

内容・序章 公民館の創成と発展
第一章 全国公民館連絡協議会の創立・第二章 全国公民館大会
第三章 単行法と社会教育法の改正・第四章 国庫補助金の増額対策・第五章 優良公民館の表彰等
一部 八〇〇円 (送料別)
申込先県公連事務局

全国大会への強いステップ
まず県公民館大会(柏崎)を盛り上げよう

昭和51年度県公連の活動重点目標

1. 県公民館振興の基礎づくりの機会とするため、昭和52年度に第26回全国公民館大会を招致するとともに全県体制による、大会実行委員会を結成する。
2. 県公連の組織力と財政力を強化し、健全なる事務局体制を存続するため、県および市町村当局の理解と協力を得て恒久的な方策を樹立する。
3. 公民館の振興に関する国および地方公共団体の行財政施策の強化に資するため、公民館振興市町村長連盟県支部の設立をはかる。
4. 県社会教育協会との提携を強め、とくに県における社会教育行財政施策の抜本的強化を促進せしめるため努力する。
5. 公民館をめぐる諸制度改善方策の一環として、社会教育法全面改正への世論を高め、全公連の策定した「公民館のあるべき姿と今日的指標」の具現をはかるため全力をつくす。
6. 県教委に対し、県社会教育委員会が答申した「社会教育施策とくに公民館の整備充実について」の施策具体化を促進する。



人々の学習要求が多様化し、強くなつてくるにしたがって、公民館の役割も大きくなってゆく。ところが、こうした要求に対応しきれないというのが現実であり、しばしばマンネリ化が指摘



多様な事業の多様化

事業の多様化

前田 幹

公民館の役割は、種々の角度から行えるべきであるが、その中心となるのは、いかなる事業を、どこまで公民館事業という

される。

もろく、それなりの理由がある。パイプは沢山あるのだが、それにあつた条件が整っていないところである。しかし、この問題は、善には解決しないのであり、そのことを裏表になる。

と、講堂主義の流れの中で発想

学習の形態や方法は、活動の目的とからみあわせつつ、よい効果をあげるために、工夫され、ゆく必要があると思ふ。方多くして効果は薄いと、まに、どのような事業形態や方法を目的表現により近いのかを考えたが、各々の関心と意欲を高めることにつながる

(新潟大学教育学部助教)

実施事業要覧

1. 会議
 - (1) 理事会 4回
 - (2) 評議員会 2回
 - (3) 監事会 1回
 - (4) 編集委員会 2回
2. 連絡協議
 - (1) 全国公民館連合会総会 1回
 - (2) 都道府県公連事務局長会議 1回
 - (3) 関東甲信越静公民館連絡協議会総会 1回
 - (4) 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会 2回
3. 大会
 - (1) 第27回県公民館大会開催
 - (2) 第26回全国公民館大会実行委員会結成
4. 振興対策
 - (1) 公民館振興市町村長連盟県支部設立
 - (2) 公民館関係予算増額運動参加
5. 研修会・講習会
 - (1) 全公連地区別研究協議会 1回
 - (2) 上中下越公連主催の大会研修会・講習会の共催
 - (3) 各郡市公連大会研修会・講習会の共催
 - (4) 県公民館職員講習の協賛
 - (5) 公民館長研修会の協賛
6. 資料発行・あっせん
 - (1) 新潟県公民館月報の発行
 - (2) 公民館関係法令・解説の発行
 - (3) 公民館運営テキストの発行
 - (4) 「月刊公民館」の発行事務に協力
 - (5) 社会教育関係優良図書紹介あっせん
7. 社会教育関連機関・団体との提携事業・運動
 - (1) 県社会教育協会の事業・事務に協力
 - (2) 県社会教育団体の事業に協力
 - (3) 県広報協会の事業に協力
 - (4) 県図書館協会の事業に協力
 - (5) 奉仕銀行事業に協力
 - (6) 行政監察相談事業に協力
 - (7) 安全会議事業に協力
 - (8) 明るく正しい選挙推進運動に協力
 - (9) 貯蓄推進運動に協力
 - (10) 新生活運動に協力
 - (11) 健民運動に協力
 - (12) 交通安全運動に協力
 - (13) 緑化推進運動に協力
 - (14) 献血運動に協力
 - (15) 環境衛生推進運動に協力
 - (16) 社会を明るくする運動に協力
 - (17) 青少年育成運動(県民会議)に協力
 - (18) 国民体力づくり運動に協力
 - (19) 子供を水から守る運動に協力
 - (20) 親切運動に協力
 - (21) 人権運動に協力
 - (22) 各種週間運動に協力

新潟県社会教育講師紹介資料

講師のプロフィール

内容・B5版・32頁

●項目：顔写真、氏名、現職住所電話、生年月日、最終学歴、社会教育関係の経歴・現在の活動(著書等を含む)

専門領域

●実費：一部三五〇円

送料共

◎申込先：新潟市一番堀通第二分館新潟県社会教育協会

公民館のバッジ



(実物は直径1.2ミリ)

全国公民館関係者の共通のシンボルマークとしてデザインされた「公民館バッジ」を頒布します。

・赤銅製、直径一・二cm、円形、中央シンボルマークと縁取りは純金箔。止め金はタイ・タック式(ネクタインにも対応)

・一個六〇〇円(送料共)

・申込先：県公連事務局

昭和51年度県公連役員名簿

	郡市名	役名	評議員名	公民館名
下	新潟市	理事	小泉 幸作	新潟中央
	新発田市	理事	太田 雪三	新発田
	村上市	監事	滝波 善助	村上中央
	新津市	理事	岩城 千代市	新津
	燕市		小林 佐武郎	燕
	五泉市		齋田 謙三	五泉
	両津市		高橋 啓作	両津
	白根市		笹川 喜一郎	白根
	豊栄市		石井 耕一	
			首藤 恒雄	豊栄中央
越	北蒲原郡	副会長	荒木 石三	水原
	中蒲原郡		羽下 米松	村松
	西蒲原郡		五十嵐 林太郎	弥彦
	東蒲原郡		佐藤 三男	鹿瀬
	岩船郡		山崎 喜三治	神林
	佐渡郡	理事	若林 与三	真野
	長岡市	副会長	平沢 一夫	長岡中央
	三条市	理事	小倉 三治	三条中央
	柏崎市	理事	近藤 義則	柏崎中央
	小千谷市	監事	桑原 芳太郎	小千谷
中	加茂市		桑原 栄治	加茂
	十日町市		小林 由弘	十日町
	見附市		佐野 末五郎	見附中央
	栃尾市		葛綿 源吾	栃尾

	郡市名	役名	評議員名	公民館名
中	南蒲原郡		丸山 稔	田上
	三島郡古志郡		本間 莊三	与板
	北魚沼郡	理事	柳瀬 畑茂	小出
	南魚沼郡		川島 雅夫	大和
	中魚沼郡		金子 幸作	川西
	刈羽郡		大谷 勉	西山
上	上越市	副会長	池田 稔	上越
	糸魚川市	理事	山田 緑郎	糸魚川中央
	新井市	理事	越山 義顕	新井
	中頸城郡		江口 俊治	三和
		理事	岡田 重五郎	妙高高原
	東頸城郡	監事	和栗 五郎	安塚
	西頸城郡		永野 伍作	能生

編集委員

- 小泉 幸作 (新潟中央)
- 石山 昭平 (関川)
- 金子 幸作 (川西)
- 徳間 助夫 (柏崎中央)
- 矢端 甫夫 (上越)
- 上村 捨二郎 (県教委)

事務局長

本田 清

事務局員

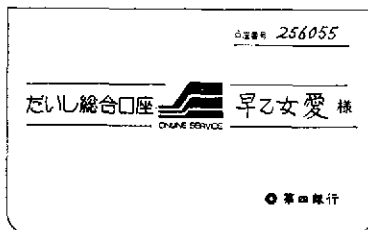
本間 照子

県大会準備打ち合わせ

ことしの県公民館大会は、九月二十四日(金)柏崎市において開催される。このための準備打ち合わせが去る六月十一日、柏崎市中央公民館で開かれた。地元柏崎市・中越公連、県公連のスタッフが集まり、大会役員、分科会の主題・討議内容・収支予算・大会事務の分担等の実施計画を話し合った。

くらしの合理化の名コンビ

べんりさ倍増...だいたい総合口座 + だいたいバンクカード



便利にホトクな総合口座(普通預金)に
これまた便利なバンクカードの組合せ
ポケットにバッグに定期入に...
手軽に利用できるミニバンク
カード1枚で総合口座の長所がフルに活用できます。
総合口座をお持ちの方なら、どなたでもご利用いただけます。



第四銀行

実践記録シリーズ ⑬

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

趣味にスポーツに

地域連帯感の育成をめざす

黒川村は、県の北東部、奥山三三八、人口六、五九二人の古形黒小国と岩船郡黒川、北信岩船荒川町、西は中条、南は新野田中

に接する面積一八〇頃、世帯一、

い歴史を持つ農村で、新瀧・山形・福島を経て磐梯朝日国立公園飯

豊澤峰の奥境を源とする胎内川が

村の中央を流れ、加治川・荒川の

支流はさまれた流域に二十七部

落が点在し、国道七号線・290号

線が交通の要路となっています。

景勝地が種から胎内・二王子泉

立自然公園胎内までの間に、下

越スポーツハウス、胎内スキー

場、植樹祭会場胎内平、奥胎内

スカイラインなど、大自然の中に

教育と観光の場が備わっています。

しかし、本村の社会教育は体

育施設をのぞき、施設面でやや遅

れが見られました。幸い本年度

から村民の集會、研修施設として

公民館と就業改善センター合休工

事が進められ、秋完成予定になっ

ており五十一年度はサークル、同

好会・研修などの施設を利用

し、活動を展開したいと願って

います。

昭和五十年度は、生涯教育の理

念に基づき、特に変化の激しい社

会生活において多様化・高度化す

る村民の学習要求に応えるため、

次の予算内で事業を進めました。

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円

公民館費 三三三万円
文化財保護費 九九万円
保健体育費総額 三三三万円
内訳保健体育総務費 七四万円
体育施設費 一三九万円



黒川村公民館

芸術文化祭、書道クラブ、華道クラブ婦人の力作

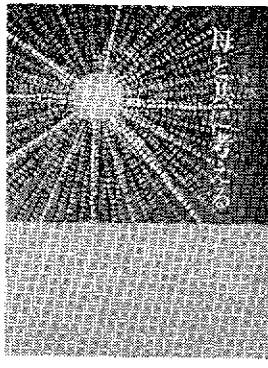
類似施設との合体で

この中に、スポーツ傷害見舞金として五万円計上されています。次に事業を列記しますと婦人教育の部では、婦人学級・講座、婦人団体研修会、婦人大会(3月14日)、幼児通信教育、青年教育の部は、青年学級、成人式(8月15日)、青年団体研修会、少年教育の部、親子野外活動、ボイスカウト活動、その他として高令者学級・回を実施。趣味教養部門で開く教室に、書道32名、茶道12名、絵画、尺八、ギター各々10名、菊・フォールダンス等好む教室で白

母と共に考える

老後は、つり革には手は届かなくなるとして腰かけの手すりにつかまってヨロヨロしていたが、ぬ、というところではあった。小

この一冊をぜひ



著者 西ヶ谷 昭 B六判 定価七二〇円(送料共)

日本社会教育普及会・編 新書判一六〇ページ 定価一冊三五〇円(送料実費) 一〇〇冊以上(送料無料)

社会人とエチケット

エチケットの基本をわきまえてい

考える本

この本は、単なる読み物やお説教ではなく、著者の立場を理解

がなされ(写真参照)感念裡に終り村民の関心を深めるに役立った

更に本年度の努力事業として、地城青少年の連帯感を深め、非行防止の面からも小・中学生を対象とした青少年リーダー研修を越

スポーツハウスで泊三日で実施し、新しい仲間づくりに意欲を盡

五十一年度は、(1)公民館施設を

実践記録シリーズ

⑭

社会体育

学校開放で成果

公民館のバックアップも生きる

大潟町は、日本海に面した平坦な砂丘地の上にあり、砂丘の内側には湖と呼ばれるいくつもの池があり、その向こうは水田の広

がっている町です。公民館活動、おひそな教育活動が年々伸びて行く町、また学校開放と多動機者の理解と暖かい支援のもとにある、条件の良い町でもあります。

昨年開かれたスポーツ教室の一つ、婦人バレーボール教室の成果について紹介します。正直なところ開催までに、いろいろな面で不安や苦労もありました、それを乗越えて開催。

キャッチ・フリースは「健康と美容のための婦人バレーボール教室」と呼びかけました。期間は六月中旬よりの八月上旬まで週一回で合計九回、会場は中学校体育館、時間は夜七時三十分から二時間、初回は十数名の参加者でスタートしました。

〔健康と美容がキャチフリース〕

参加者全員に、スポーツ傷害保険に入ってもらい、平均参加者数は十数名、平均年齢三十五歳、とくに二十歳以上の参加者のときもありました。担当した私が、まず喜ばなければならぬことは、

期間中一人の係長人も出なかったこと。それになんといっても、主旨としての健康と美容のためというところから体操(美容の面)を中心

に、楽しい雰囲気になってからバレーボールに入る。生まれて初めてバレーボールをするという人も

何人か参加されましたが、回数が増すたびに上達し本人もびっくりするほどでした。また、一番うれしかったことは、最終会近くに「今度いつやるネー楽しんでたまらんワ。もう少し続けてもらわんネもんかネ」などの声もあり、「こんなにも楽しく面白いもんなら今度〇〇〇のブネチャーも誘ってくるワ」などいろいろ、そして仲間が

あなたをどうサポートする

老人クラブの事務

質問

地区の老人クラブ連合会です。日頃共催で事業を持ったり、役員会にもオブザーバとして参加したりして関係も深く、また、事務処理も担っているのが公民館で事務局を担ってほしいと思っています。

回答

運営能力を指導

公民館が、地域の社会教育のコーディネーターを兼ね、指導や係団体等の事務局となっている。事務用品などを置いたり、仕事ができるような環境を整えること。公民館の建物のスペースさえは、公民館の運営上が最も希望は、館内団体やサークルを考えたことです。

最もこの地域でも、ママさんバレー等が盛んに行なわれている。

一人でも多くの参加者というところで、その抱えている苦慮から見つけ、問題点を解決しながら計画実行に移したいと思えます。

今年度は昨年参加された人たちの期待に答へ、前期・後期の二回に回実行に移したいと思えます。

しかし、公民館職員が、ある団体の幹事や役員に加わることには、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。
団体の運営は、あくまでも団体の構成員が行なうべきものであり、公民館は、求めに応じて必要な助言をしたり、事務補助をしていくことが望ましいと思えます。
そして、そういう中であなた自身も分たせられるような方向へ指導して行くことがたいせうだと思います。

また、団体のメンバーから運営能力を身につけてもらうために、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。
あなたも公民館でも一歩の必要の助言をしたり、事務補助をしていくことが望ましいと思えます。
そして、そういう中であなた自身も分たせられるような方向へ指導して行くことがたいせうだと思います。

また、団体のメンバーから運営能力を身につけてもらうために、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。

また、団体のメンバーから運営能力を身につけてもらうために、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。

また、団体のメンバーから運営能力を身につけてもらうために、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。

また、団体のメンバーから運営能力を身につけてもらうために、リーダー研修会等の機会をば、また別な面で問題となることがあります。

(大潟町体育指導員 佐藤 利男)

佐藤 利男

出雲崎町は、漁港として栄えた
出雲崎と奥村西越が合併して築足
した町で、この数年過疎の現象が
著しく公民館の運営もこの実態を
踏まえて考えなければならぬ。
地域の実情から見て、男女を問わ
ず誰にでも親しまれ喜んで参加で
きる社会体育、スポーツの振興に
とりくむことが最上策と考えた。
これこそ町民相互の融和と信頼を
深め明朗かつ達の資を養うこと
にも随分効果があるものと思
う。



〔冬の出雲崎の家々〕

社会体育の振興

出雲崎公民館の場合

荒木秀三

これに基づいて実施した本年度々々思われる。
の実績記録の一端を左に紹介して
一、水泳大会
経費 四五、〇〇〇円
実施日 八月十日
場所 町営プール
参加者 二二〇名

二、水泳教室
経費 四二、〇〇〇円
実施日 七月二十八日から六日間

場所 町営プール

参加者 一、〇〇名

協賛された西開の環境と公民館の米
の立派なプールと五人の指導員に
よる顕著な指導の結果参加者は毎
日必ずつと熱心に受講し成果を挙げ
た。

記録もますます前述の水泳教室と
共に毎伴継続実施の予定である。

三、視学ハイキング
経費 一三〇、〇〇〇円
実施日 十月十日
参加者 五六組(二二名)

バス二台で親子揃って五六組が楽
く清津峡へ。終日笑顔にはずんだ
話者が絶えなかった。当町は通勤
労働者が多く日頃対話の機会が少
い親子が一日中清足な表情で染
しむ姿はほほえましいものがあつた。

3卓球大会
経費 二二、〇〇〇円
実施日 二月七日
参加 九八名

各球技とも高度の技術を競うので
はなから男女共各職場で編成したチ
ームで親睦を兼ねて実施され一時
的ではなく水練性をもっている。
なお最近では卓球は二月二十二
日、バレーは三月七日に大会をも
つた。

3卓球大会
経費 二二、〇〇〇円
実施日 二月七日
参加 九八名

四、各球技大会
1野球大会
経費 三〇、〇〇〇円
実施日 五月三日
参加 八チーム
2バレー大会
経費 一八、〇〇〇円
実施日 十一月三日
参加 七チーム

五、オリエンテーリング
経費 一〇、〇〇〇円
実施日 一〇月二十九日
参加 一八チーム

近來脚光を浴びてきたこの競技は
他のスポーツの持つ長さを備える
とともに行動力、判断力を養な
う。具体的には地図の読み方磁石
の使い方を見え、自然に親しむこ
とができる。青少年は興味と意欲
を見せ各チームとも美郷日を心待
ち、待っている。(出雲崎町公民館長)

おたより紹介

いつも公民館月報をお送りいた
だいてありがとうございます。今
回は私の関係する本をご紹介い
ただきありがとうございます。
西中通コミュニティセンターの
記事、大へん有意義に拝見させて
いただきました。また梅山八十二
さんの記事などもつかしの思いで
した。

図書館の書庫講座の準備をして
います。
十月下旬からの公民館経営専門
講座には、新潟からカットに参加
されますよう、戻りしめたお願
いします。

(東京、国社会教育研修所
徳合 正樹)

☆ ☆
☆ ☆

私と公民館

新発田市婦人学級生
松本京子

是子知らずの新発田に引越され、賢く生きていかねばなら
して、また在物の整理も終らないことを学んだ。ある学級生
いある二一歳親しはたで婦人が、「私は、自分が家庭の要で
学校の開設と学級生の募集を自らやるという目標をもっている。
にし、た友を求めたい一心と話していた。私は、この言葉
で公民館の門をたたいたのは、を一生忘れないう。

三年前の四月であった。 これらの学級は、私なりに強
いよいよ開校式の口、一年生くしゃかりした人生を歩まねば
のうちに心はずませず参加式などないことを教えてくれた
が始った。一人ひとり、順
番に入級の動機や決心を
話す。大部分の学級生
は、友を求め、生きがい
を求めて入級してきたお
り、その熱意に感心した
ことを、でも覚えてい
る。

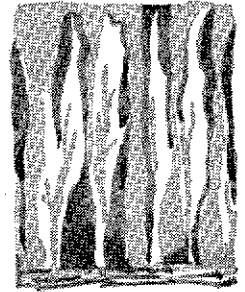
以来、三年間。友人に
助けられながら沢山の勉
強をさせていたのだ。
時事問題の学習の面白
かったこと。現在の世界
状況および日本の置かれて
立場を、わかり易く、おもしろいものでもなく、多くの方々にも
く講義して下さったお蔭で、新知っていたたきたく、有意義な
聞の政治面、経済面にも目を向 婦人学級への参加を友人に呼び
けるようになった。

自覚しえたもの

同時に染み込んだ日々であ
した。私も有為で、今
まの自分を反省すると
る。この喜びを私一人
に、許容深く、しかも理
論的に考えることを教え
てくれた。また、講師を
囲んでの話合いは、い
る。この喜びを私一人
に、許容深く、しかも理
論的に考えることを教え
てくれた。また、講師を
囲んでの話合いは、い

また、昭和五十年度の国際婦
人年。女性として、母親としの一粒の種をたくましくつ
て、主婦として地位の向上をめ

あの頃のこと



子どもの頃の思い出でも、生家の米蔵にいた大蛇は格別である。あれ程厳重に閉ざしておく土蔵に、どうして蛇が入ったのか未可解であった。記憶では四、五尺はあろうかと思う丸太太った青大将で、母は「米蔵の蛇は縁起が悪いのだから粗末にできないのだ」といっておられた。恐らくねずみを食べているから、あんなに太ってつやつやしているのだであろうが、厭味をこらへ神必を思わせるものがあつた。

倉庫し蛇目足に困り立つ夫婦、嫁さき、お倉の蛇殺れけり、納屋の蛇標旗をこねず去りにけり。

また、どうして上ったのだろうかと思う土蔵の扉板にいた青大将の記憶もある。脊かち初置にかけた瓦の下に這くろの卵や雛を追つもので、やはり大きな蛇であつた。天井裏でもねずみを追う蛇、鳩の子を喰えたり、鶏の卵を狙う青大将などが、生家のまわりにくさんいたことを覚えている。

戻りにも同じ処に同じ蛇、そこを、山道を散歩する時は犬を連れて歩くとした。これな

人聞誰しも優しさを持つてい、ちっとして優しに行ないは、誰にもできるはず。けれども本当の優しさは備えることにはなかなか容易なていではない。私自身のことを取り返ると、本当の優しさという点になるといさか疑問である。今までもこんな自分に平気であるのかと思つて考えさせられる点が多い。本言「優し」とは、他人のことを真剣に、自分のことのように考へてあげられる人だと思ふが、そんな人、私はなんと冷たい人間であつたかと思われるのである。そうなのだ。関心のあることに対しては親切に優しくなるが、関心のないことは全く冷淡だったのである。根が腸胃が楽天的なせいか、自分自身、悩みというものが

犬が露払いでその後をいくのだからと考えたが、「細い山道を一列になつて歩

ていく時、前から三人目の者が蛇にかまれる確率が高い」といふ話をきいてから、これとでもうかつかできないかと思ふようになった。つまり、草むらに潜む蛇は最初の二人に驚いて緊張し、二人目の足音で身構へ、三人目の足音に攻撃を加えるといふのである。だから、犬を先遣にして、犬の前足が一人目、後足が二人目といふことになり、かまれるのはやはり後からいく人間ということになるといふのだ。

されははめになった時など、心の中では、また余計なことをしてと不平を言いつながら、それ以上に、姑の優しさをすばらしいな、なせあんなにまで出来るのだらうと思つたものだ。そして、人の苦しみを痛みを自分のものとしてできない自分に、もどかしさをほつきり感じた。

いつか思ふ、本当の、本物の、優しさを身につけたい。真の優しさで触れ合ふはおのずとこちらが気持ちよくなる。そこから人と人の和が生まれるのだと思ふ。其の優しさが第一である。そして人生は毎日毎日そんな勉強であつたがため直ぐの自分である。

バスのお客さん S・K

後座席というものは、白動車事故被害等の事後に見られるものはわりとではなく、日常の仕事をするためのなかにも、生ずるものの上で、当事務局の後遺症もいましてはらく続かざるをえないことである。

しかし後座席というものは、自身はさくわがるが、他人にとってはさく、痛くもかゆくもないといふところがあり、まことに始末のわるいものである。

ともあれ「相手の身になって考へる」ことが、なにより大切なことだと思つておる。(本)

公民館で作成した資料や文芸作品または館報などを送ってくださいませんか。

県内の皆さんへも紹介したいと思ひます。

編集部



蛇の話 (中)

猪股武雄

本門寺にて

東京 江口 梓子

児玉善十夫翁が遺す鐘樓端然とさくら吹雪を受けて建ちおちり柱太きこの鐘樓は児玉という一人の寄附と聞きておぼろく惜しみなむ善十夫はそく鐘樓の申しき念に建つといふとも

烈風の一日 田島 飯田 鈴江

天つ風怒りて無念な双手より知がもき取る白き温泉紙
温泉紙たちまち飛ばす烈風は芽吹き初めたる苗たいたいし
苗代に入りておぼろくあるはかり風荒る日は鐘樓かなむす
(以上、牧村公民館内・短歌誌やまなひ百景より)

あとがき

後座席というものは、白動車事故被害等の事後に見られるものはわりとではなく、日常の仕事をするためのなかにも、生ずるものの上で、当事務局の後遺症もいましてはらく続かざるをえないことである。

しかし後座席というものは、自身はさくわがるが、他人にとってはさく、痛くもかゆくもないといふところがあり、まことに始末のわるいものである。

ともあれ「相手の身になって考へる」ことが、なにより大切なことだと思つておる。(本)

(本)